



▲茶摘み風景（富士市大洞地区） 静岡支部 中西 敬一

CONTENTS

2 地本・支部だより

●本部

- 平成29年 春の祝賀受章
- 平成29年度 東海鉄道OB会表彰式 総会を開催
- 平成29年度 東海鉄道OB会基本方針

4 ●名古屋地方本部

- JR若手社員と武蔵野線職者画像の洗浄と安全座談会開催
- 鉄道のまち中津川と懐かしのD51
- 「お花見日帰りバス旅行」を開催
- みんなで楽しめる支部活動を計画

6 ●静岡地方本部

- 今年も元気な……新春さわやかウォーキング
- 旧東海道「新緑」を散策
- 間にも盛にも負けずハイキング

7 ●東海大坂地方本部

- 第24回ゴルフ大会を開催

8 JR東海トピックス

11 東海鉄道OB会 会員優待情報

12 お元気ですか？

脳動脈瘤とくも膜下出血の話

13 投稿ページ

老後の手習い 三河支部 近藤 弘明

14 インストラクター

人形と生きる 名古屋運輸車両支部 宮田 博

我が支部の誇り

祝「80歳(米寿)」の高山市

高山支部 横田 茂

15 文芸

編集後記

本部

平成29年度 春の叙勲受章

平成29年4月29日、春の叙勲受章者が発表され、東海鉄道OB会関係では、3名の方が栄えある賞賜を受けられました。おめでとうございます。

その伝達式が5月10日東京プリンスホテルで行われました。(順不同)



瑞宝双光章
三島支部
大川一雄様



瑞宝単光章
豊橋支部
伊藤信平様



瑞宝単光章
飯田支部
矢澤一二三様

平成29年度 東海鉄道OB会 表彰式・総会を開催

東海鉄道OB会 事務局

東海鉄道OB会は、5月17日11時30分より名古屋マリオットアソシアホテルで平成29年度会長表彰式及び総会を開催しました。会長表彰式及び総会には、ご来賓として、JR東海柘植代表取締役社長、金子代表取締役副社長、執行役員伊藤総務部長、JR貨物執行役員古澤東海支社長、また、東海鉄道OB会から天谷会長をはじめ各副会長、専務理事、代議員及び会長表彰受賞者等44名が出席されました。

先ず昨年度亡くなられた304名の物故者に対する黙祷を捧げた後、表彰式に移りOB会の発展・運営に多大に貢献された特別功労章1名、会員増強表彰(団体)2支部、増収協力表彰1名、役員功労表彰18名が受賞されました。

会長表彰受賞者は次の通りです。(敬称略)

●特別功労章

名古屋地方本部 陶部支部 斎藤 慎

●会員増強表彰

静岡地方本部 鳥田支部(団体)
同 豊橋支部(団体)

●増収協力表彰

名古屋地方本部 西濃支部 北村 俊雄

●役員功労表彰

(静岡地方本部)

御殿場・小山	滝口 博行	沼津支部	佐々木 甲司
富士宮支部	栗田 重彦	身延支部	太田 良人
鳥田支部	秋山 泰男	豊橋支部	出崎 稔
飯田支部	平沢 宗治		

(名古屋地方本部)

三河支部	本多 亮	名古屋運輸車支部	竹内 孝
稲沢支部	鈴木 昭二	垂井支部	高木 久美雄
関ヶ原支部	岩津 英樹	美濃太田支部	堀部 千敏
高藏寺支部	日比野 久良	東濃支部	安田 清美
中津川支部	西尾 襄治	四日市支部	巖山 正一
鈴鹿支部	坂崎 勝宏		

【天谷会長挨拶】

「本日は、OB会総会ということでご参会いただきまして誠にありがとうございます。」

会社からは、JR東海代表取締役社長の柘植様、代表取締役副社長の金子様をはじめ多数のご来賓にご臨席賜り、厚く御礼申し上げます。

先ほど、各種の表彰をさせていただきました。OB会総会というところでご参会いただきまして誠にありがとうございます。長年に亘りこのOB会活動を支えてくださいましたことに改めて御礼申し上げます。

この会場に来られる前にお立ち寄りされた方もおられたかも知れませんが、隣にJRゲートタワーがオープンしまして、非常に多くのお客様で賑わっております。

また、先日JR東海の決算が新聞に出ておりましたが最も最高益ということで大変素晴らしいことだと思いますし、中央リニア新幹線のつち音もどんどん高くなっております。

また、新幹線の定時運行の技術もどんどん磨かれており、昔は車両故障や架線故障ということが間々ありましたが、最近では全くというほど聞かれなくなりました。本当に素晴らしいことだと思います。

私達OBの心の拠り所であるJR東海には勢いがあり、素晴らしい技術力のもとに運営されていることは、OBの一人として嬉しく、また、誇らしく思っています。

私は、今回の総会を持って会長の職を辞することになりました。後任に吉川さんをお願いをすることになりました。新会長の下、このOB会の活動がますます活発になることを祈念しながら挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。」と挨拶されました。



▲天谷会長

【吉川新会長挨拶】

「今回ご紹介いただきました吉川でございます。

現在、JRセントラルビルに在籍しておりますが、OBになってまだ一年経っていない若輩者がやっておりますのかと感じる訳ですが、東海鉄道OB会の方とは、国鉄の頃から一緒に仕事させていただいた縁もあり、精一杯頑張っておりますので今後ともよろしく願いいたします。」と挨拶されました。



▲吉川新会長

【JR東海拓補社長挨拶】

「今日は、東海鉄道OB会総会、誠にありがとうございます。

今年で国鉄分割民営化30年になります。私は、新潟から名古屋にまいりましたが、当時は、いろいろな面で大変厳しい状況からのスタートでした。

そして30年間、当時からずっと全く想像もできなかった名古屋

駅の姿一つを見ても、今やセントラルタワーズ、ゲートタワーと、それは様変わりした極みのような状況にあります。鉄道輸送の面においても当時の在来線の輸送量より7割くらい増え、名古屋駅の東海道線上りの列車本数は一日55本でありましたが、現在は167本と約3倍強に、新幹線も一日当時279人から今や445千人で約7割ほど増え、列車本数も231本が365本と大変たい輸送になっており、関連事業も力強い形になってきました。

何よりも責任事故が四分の一になっており、鉄道運転事故も27年度の六分の一で、ハード面の強化を含め人の努力もあって事故は減ってきており、大きな事故も起きていません。これも皆様方が国鉄の最後の厳しい環境の中で、それぞれの地区、仕事でご努力いただき、その積み重ねが、一段一段成長に繋がって今日に至っています。皆様方には30年間、国鉄時代の大変苦しい時代を乗り越えていただいたことに厚くお礼を申し上げます。

平成28年度決算も皆様様で、ここ数年間多くのお客様にご利用いただいたお陰で、新幹線も7年間余り続いた毎年収入が上回ってきており、4年連続で最高の輸送量となっております。

また、在来線も特急ひだ号が平成3年に走り出して、数年前

までは半分くらいまでお客様が落ちましたが、この4年くらいで外国のお客様も増え2割ほど戻ってきました。まだまだではあります。しなのも含めて特急も少し努力すれば伸びていく可能性も高く、力の入れ時でもあると思っています。

鉄道も元気です。関連事業も元気ですが、中央新幹線のこの難題に会社はしっかり乗り切っていかなければならないと思っています。

現在、リニア開業に向けて約1,100人の主に若い社員が、それぞれの地区でいろんなことに関わりながら、一つずつ前に進めてきており、全体としては着実に前に進んでいます。

これから本橋工事にかけて行きますが、この難題を乗り切っていく事が一番大きな課題であり、その仕事を順調に進めるために新幹線、在来線とも、きちんと安全に運行して、更にさらにサービスを良くしてしっかりと収入を稼いで、経営基盤を強くし、そしてリニアを進めてまいります。

OBの皆様方には、日頃からいろいろな面でご協力をいただいておりますが、その中でも駅舎、SLの清掃やさわやかウォーキングへの参加だけでなく、案内誘導でお力添えをいただいております。さわやかウォーキングも年々盛んになっており、先般の名古屋東岡区で開催しましたウォーキングには7,677人と想像を絶するような参加をしていただきました。

京都で実施しますと、約1,000人を越えますが、その内の半分は名古屋、静岡からで、その約4割が名古屋地区、1割が静岡地区です。

多くの方が新幹線で行かれることから大きな増収にさわやかウォーキングはなっています。それ以外でも鉄道、バスを利用していただくなど、会社の経営面に多大なご支援をいただいております。改めて御礼申し上げます。

OB会は、残念ながら会員の減少はもむを得ないところがあると思いますが、我々として何ができるのか、説明会、積極的な誘導等、できることはこれからも一生懸命やっておりますと思っています。

そして今日表彰を受けられた方は本当におめでとうございました。いろいろなご尽力に敬意を表する次第であります。

最後に、OB会はいろんなレクリエーション活動等、楽しみのある活動もあります。是非とも活動を活発に運営していただき有意義なOB活動となるようにご尽力いただければと思います。我々JR東海もできることはご支援させて頂きます。国鉄時代からJRに移行して30年間、この節目にあたり厚く御礼を申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。」と述べられました。

その後、平成28年度事業報告、収支決算の報告が行われ引き続き平成29年度基本方針(案)と予算(案)が審議され全会一致で承認されました。

平成29年度 東海鉄道OB会基本方針

1. 会員の増強

- (1) JR退職者の新規入会促進
- (2) 未加入者の発掘と入会勧誘
- (3) 選会者の抑制
- (4) 女性会員(遺族会員・準会員)入会促進

2. 支部活動の活性化

- (1) 積極的に地域との交流促進
- (2) 会員相互の交流活動を充実
- (3) 支部間交流の推進

3. JR東海及びJR東海グループ会社への協力

- (1) 旅行会の開催
- (2) SL等鉄道展示車両の整備・清掃及び無人駅の清掃・美化等
- (3) さわやかウォーキング、各種イベント等への協力

4. 会員への情報提供

- (1) 会報の充実
- (2) ホームページの活用

名古屋地方本部

JR若手社員と武豊駅殉職者 胸像の洗浄と安全座談会開催

半田支部 成田 信幸

今年の2月、例年開催する「新春・顔合せ会」の席上で、昨年9月台風の影響により延期となっていた武豊駅周辺整備と殉職者胸像の洗浄を行う案が出され、武豊線のご利用が増える知多半島内「春まつり」開催中の4月12日に決めました。

JR管理駅として支部総会に出席していただいている大府駅長からも「次の機会に若手社員の安全教育の一環として参加させたい。」との意向もあり声を掛けられました。

当日は、春の暖かい日差しに恵まれ10名の会員と大府駅長、助役、若手社員の4名が集まり、待合室、駅前広場の除草を行うとともに、殉職者胸像を洗浄しました。

この像は、元武豊駅駅手、故高橋 昭氏(当時23歳)で昭和23年9月台風13号襲来時に、堤防が決壊し高潮により列車運行が危険状態の時、隣駅を発生した列車に対し、荒れ狂う濁流と暴風雨の中、発煙筒を振って列車を停止させ、多くの乗客が救われましたが、本人は悲劇のまに殉職されました。



▲OBとJR社員が力を合せ洗浄しました

胸像の洗浄は、2年前の武豊線電化開業に合せて行い二回目ですが、風雨によって汚れが目につきました。JR若手社員が率先して脚立に登り、洗剤を使って胸像を丁寧に磨き、会員も台座を手拭で何度も洗いました。その甲斐もあり常滑線の本来の朱茶色が蘇り、制服、制帽姿の胸像に改めて全員で花を供えました。

その後、武豊駅長室において台風当日隣駅で勤務していた会員から当該列車、線路及び駅周辺の浸水状況等を資料で説明を受け、全員で災害に係わる安全について話し合い、若手社員も真実な経緯でメモを取り願っていました。入社4年目の若手社員は、今後車掌への道を目指しており、「参加して安全への意識がより高まりました。」との言葉に会員一同鉄道人としての使命感である安全への鉄道魂が受け継がれて行く事に喜びを感じました。

鉄道のみち中津川と懐かしのD51

中津川支部 田中 寛

中津川市は、東山道、中山道、飛騨街道などの交通の要衝で、中央本線、北恵那鉄道、各森林鉄道などによって産業が発展してきました。特に、中央本線名古屋-塩尻間(141.6km)の輸送の中核を担っていたのが中津川機関区です。

濃尾平野から東濃木曽の山岳地帯を越えるために使用された機関車は「D51」であり、常に25両近く配置され日夜変遷しました。

「D51機関車」が中央本線に配置されたのは、昭和4年3月で煙を吐いて力強く走る姿は今でも思い出されます。その「D51」が活躍した最盛期は、昭和30年代で昭和41年7月名古屋-瑞浪間が電化されて蒸気機関車からディーゼル機関車・気動車・電車に代りはじめ、昭和48年10月に全線電化で木曾谷から「D51機関車」は消えました。

昭和46年4月に廃車となった「D51 266号」は、旧国鉄から昭和53年に中津川市に貸与され、最初は市役所横に展示されていましたが、自動車の駐車場が狭くなったことから現在保存されている本町公園へ移されました。機関車の整備は、元中津川機関区のOB主体でD51保存会(中津川市D51会



▲晴況にめでたきよけ上げした

43名)を結成し毎月第三日曜日に清掃整備を一度も休むことなく今日まで続けており、現在各地で保存されている中でも保存状態は最上級の格付けになっています。

4月11日本町公園は、桜が満開となり多くの人が花見を楽しんでいる中、私達がD51の清掃整備を行っているところへ子供達が機関車を見たいと来ましたので、その対応に追われましたが、清掃は午前中に終え集合写真を撮って午後から本町の杉野町クラブで総会を開き終了しました。

今後、中津川支部「D51会」では、リニア時代(中津川市に岐阜県駅と中部総合車両基地建設予定)に市の存在感を示す一つのきっかけになればと、夏休みに「子供とD51」との触れ合い「鉄道展の開催、中津川鉄道資料館の建設等」を考えています。

「お花見日帰りバス旅行」を開催

～春の伊勢路は一日中“雨”、
「車中で花よりダンゴ」の旅～

名古屋東支部 近藤 忠

4月11日、名古屋地区協議会(三金会)主催の「五十鈴川の桜と二見ヶ浦及び伊勢神宮参拝」バス旅行に7支部34名が、雨降りの中予定どおり名古屋駅を出発しました。

雨は止む気配もなく、予報も一日中“雨”でしたが、それでも「お伊勢さんが、(晴れるよう)願いを叶えてくれる」ことを期待しつつバスに乗り込み、車内では早くも酒盛りが始まりました。

11時頃、最初の目的地の二見ヶ浦に到着しましたが、この頃になると雨のほか風も加わり悪悪の天候となってきました。二見興玉(おきたま)神社の参拝も、数名がお参りしたのみで、二見興玉神社には、道開きの神様である猿田彦大神が祀られており、境内には猿田彦大神の使いとされるカエルの置物が多数ありました。そのほか二見興玉神社の神域の海中にある男岩(高さ9m)と女岩(高さ4m)が寄り添い注連縄で固く結ばれている夫婦岩があり、良縁のご利益があるとされています。

その後、昼食を終え13時過ぎに伊勢神宮に到着しました。

その頃は願いが少し叶ったのか、雨は小雨に変わってきました。五十鈴川の桜は雨の桜でしたが、それなりの美しさがありました。伊勢神宮は、二千年余りの歴史を刻む最高位の



▲車窓で車外へ出るのもこの足を踏み出しました

神様であり、正式には「皇大神宮」といい紀元前4年垂仁天皇の御代に五十鈴川の畔の現在の地に鎮座されたのが始まりでありました。

神宮の参拝も終え、その後はおはらい町「おかげ橋丁」をブラブラしました。お土産の名物赤福餅やへんぱ餅を買う人、更なる親睦を深めるため(?)酒盛りをする人など、それぞれが風情あふれる町並みの魅力を感じ散策を楽しみました。

雨の伊勢路ではありましたが、花見以上に「花よりダンゴ」で、お互い支部間の交流をさらに深め、情報交換ができた有意義で楽しい「日帰りバス旅行」となりました。

みんなで楽しめる支部活動を計画

三河支部 鷲尾 修一

会員の減少と高齢化が進む中で、家に閉じ籠りがちになることを防ぎ、また、認知症予防のためにも極力外出し足腰を鍛えるとともに会員同士の情報交換の場を設けるため、三河支部では平成27年度から日帰りバス旅行、グランドゴルフ、麻雀・カラオケウォーキング・ゴルフ、SL清掃等のほか、地元で開催される「SL木工細工作品展の観覧・バードウォッチング」等、年間17回の活動を計画実施してきました。

各活動とも15名前後の参加があり、特に支部内にある東海道宮場(岡崎・藤川・池鯉鮒)ウォーキング等は、家族の参加もあり好評でした。また、活動毎に参加者の顔ぶれは変わりますが、会員の趣味・興味の幅広さを感じ活動を増やして良かったと思っています。

平成28年度は、会員から要望の多かったグランドゴルフを2日追加し、宮場ウォーキングは御油・赤坂宿と二川宿を計画しています。

本年度最初の活動である「第15回支部グランドゴルフ会」を4月13日に幸田町の大日陰グランドゴルフ場で穏やかな晴天の下、会員・家族併せて22名が参加して楽しく実施することができました。



▲元気にグランドゴルフを楽しみました

参加者を一組5～6名の4組に分けるため竹籤による抽選で決め、スタートして約一時間後には、パーティ、ホールインワンなど元気一杯のプレーが繰り広げられました。各組上位3位までに賞品を、グランドチャンピオンには優勝カップと副賞が贈られました。第4組の3位を決定するにあたり、グロス、2打・3打の数でも決めることができないため、高齢者を3位とするなど盛り上がりました。競技終了後は、弁当を食べながら大会の反省等、和やかな一時を過ごしました。

今後は、太極拳、植木、絵画など更に幅を広げて年間を通じて会員の趣味や興味を考慮しながら皆が参加できる計画を立てていきたいと考えています。

静岡地方本部

今年も元気に……
新春さわやかウォーキング

島田支部 中川 洋和

今年も元気な毎日を過ごそう!と1月8日JR島田駅を起点とする行程12.8kmのさわやかウォーキング「新春開運七草粥と川越道徳」に会員・家族20名が参加しました。

駅から歩いて約1km最初のお目当ては、蓬莱橋のたもとで催される餅投げです。宝船に乗った七福神からバラ撒かれる祝い餅に我先と拾い集める参加者の姿は凄まじく、拾うのは至難の業でした。

餅投げが一段落したところで、ギネスブックに認定されている長さ897.4mの貫取り木橋「蓬莱橋」です。

大井川の雄大な流れと、遠く雪化粧した富士山を眺めながら橋を渡り切り、牧之原台地の一角に佇む中條原昭公像に向かいました。徳川幕府の直参旗本の中條原昭公が中心となって牧之原大茶畑を開拓した由緒あるところです。ここからの眺望は素晴らしい、眼下に大井川、雪化粧の富士山、伊豆の山々、島田、藤枝市等が一望に見渡せるっておきのスポットです。



▲寒い中、野外での懇話会もまた热闹でした。

ここでは地元有志の方々が、温かな甘酒を用意して参加者に振る舞って下さり、寒風で冷え切った身体には打って付けのご馳走で皆満足感に浸っていました。

身体が温まったところで敬満神社へと足を運びました。神社の鳥居をくぐると境内からは鐘や太鼓の音が鳴り響きチンドン屋の出陣です。

ここでも町内会や神社世話人の方々手作り七草粥に、たくあん漬けを添えて振る舞ってくださり、無病息災を願いつつ舌鼓をうちました。その後、神社境内近くの茶園の片隅で支部会員が、支部旗を掲げ車座になって野外お座敷懇話会となり、今年一年の健康と多幸を祈念して乾杯し、「来年も元気に歩き来よう」と誓いあいました。

今回もこのウォーキングに合わせてご協力をいただきました地元町内会等の皆さんの温かなおもてなしに感謝した一日でした。

あらい
旧東海道「新居」を散策

浜松東支部 小松 義一

当支部の位置する遠州地区は、NHK大河ドラマ「女城主直虎」でご存じのように戦乱の世に徳川・今川を中心として激しく戦った名所・旧跡を数多く有しております。

7年前にOB会仲間で開催増進と併せて歴史探訪をしてみようと年間2回のペースで実施し、姫街道、女城主直虎コース、遠州山辺の道、そして旧東海道へと進み今回で通算14回目となります。歴史事情に溢れ1600年に徳川家康により設置された新居関所を中心に、春の色に染まる4月3日JR新居町駅に我々のメンバー7名が揃いスタートしました。

関所のたもと吾徳の辺りは、船町と呼ばれ、この関所の処から浜名湖の湖上1里半(約6km)の舞殿の地まで渡船により街道を結んでいました。

この船路は、幕府直轄で船200隻を有し、船頭は明治2年まで公務員扱いであったとのこと。関所と交通の関係の要所として町は栄え、本陣3、脇本陣、旅籠などの面影が今でも残っており、町割りも、京都を真似て碁盤の目になっています。この地は、1699年、1701年、1707年と3度の津波と大地震に見舞われ、湖底に沈んでしまったため現在の地へ



▲メンバー7人、今年も元気に散策しました。

移して幕府と江戸を護っていました。

関所は、全国に53箇所には設けられておりましたが、特に「入鉄物と出女」は、面白い調べをしたとの記録があり、「木戸閉まる音やあら井の夕千鳥太紙」の唄がありました。

また、江戸より68里(272km)の一里塚や棒突といって、柵を設けて人の出入りを見張っていた道筋もありました。

山原には、数多くの神社仏閣があり、災害時の避難所と兼ねていたりと思われる表示もありました。楽しい昼食時には、この地区在住の旧知の元職員とも出逢い、懐かしい遠州弁も聞くことができました。この後は、神社に詣で皆の健康と再会を祈願し、次回は11月を予定し楽しみにしています。

雨にも歳にも負けずハイキング

清水支部 小長谷 勝

4月6日から7日にかけて清水支部の「五木寛之百寺巡礼 京都・奈良を歩く」ハイキング(バス旅行)を計画し、男性12名、女性6名が参加しました。

出発日の天候は、降ったり止んだりでしたが、奈良公園に到着し、前日開花した桜の下を沢山の外国人に混ざって東大寺へお参りしました。

南大門では、右側に阿形像、左は阿形像で一般的な仁王像の安置方法とは逆になっていますが、寄せ木造とが、横の柱には鉄砲の玉や矢尻の痕もあり、長い戦いの歴史を感じ取れました。東大寺は修理中でしたが大仏殿の柱の太さ等、その大きさと日本人の建築技術の高さに感動しました。

その後「バスで秋篠寺に向かい、本尊の薬師如来、日光・月光菩薩、十二神将等を見て、次の薬師寺では、弥勒如来が本尊、裏にはシルクロードの最後が奈良を表す物、撮ってはダメな玄奘三蔵を望遠で撮影し、平山郁夫の「大唐西域壁画展」で三蔵法師の精神を描いた壁画を鑑賞した後、鑑真和尚の唐招提寺へ行き、各寺院では沢山のお願いをしました。

今日の宿泊「天理教・岐美話所」に到着し、先ずは食事ですが、昔を思い出す年寄りらしい質素な食事であり、三人で



▲今年度第一回目のウォーキングを楽しみました

一杯になる風呂に入った後、部屋で懇親会を行いました。

翌日7日雨、朝食後バスで京都へ向いました。金閣寺に到着し先ずは記念写真を一枚。金閣寺は、正しくは「鹿苑寺」と言い、臨済宗相国寺派の禅寺(世界遺産)で、二階、三階に金箔が貼られています。相国寺では、当時の漏滴の跡や、法堂天井の蟠龍図は狩野光信の作で手を叩くと反響する「鳴き龍」を見学、体験しました。昼食後、銀閣寺へ行き哲学の路を行くと何故か猫の多い散歩道でした。途中谷崎潤一郎の墓に参り、南禅寺境内に架かる水道橋は、付近の原野に設置した優れたものですが、途中でずり滑り着物姿の女性は、着付けをされた中国人が多かったです。帰りの車中で詩吟教室講師の草谷・平岡さんの春を詠う詩吟を満喫。後はおとなしく車中でお休みし予定より早く帰宅できました。

東海大阪地方本部

第24回ゴルフ大会を開催

東海大阪地方本部 事務局

4月21日、恒例の当地方本部主催のゴルフ大会を「瀬田ゴルフコース」にて開催しました。

開会式では、本部長より「参加者が少し減ってきているように思えます。メンバーの組合せで“あの人と回りたい”とか、他にも希望があれば事務局で調整しますので、次回は、今回参加されていない方を誘っていただき、多くの参加になるよう期待します。本日は事務局の方で怪我によりプレーできない方もいますが、怪我の無いよう一日楽しいゴルフをやりましょう」との挨拶がありました。

今回は、気候的にもゴルフシーズンが始まった事もあり、各々スケジュールが詰まっていたのか、参加者は本部長の挨拶にあったように25名と少ない参加となりました。

天候は、朝は曇り空でしたが午後からは晴天に恵まれ、絶好のゴルフ日和となり、今回の参加者の最年長者は81才で、半年ぶりにお違いました。皆々元気そうで、腕まくりを



▲互いの健康と親睦を確かめ合いました

されてやる気満々、見ている私も元気をもらいました。

事務局の私は、足の怪我のためクラブハウスの待機(退屈でした…)となり、ゴルフ場でのエピソードは語れませんが、プレーを終えられた皆さんの笑顔から想像すると、楽しいゴルフをさせてもらったと思います。

表彰式では、同スコアでベスグロを逃したり、飛び賞を逃したりと、年齢差で明暗が分かれ、残念な思いをされた方がおられました。スコアは別として次々の再会に、日頃のことやら、健康のこと、孫のことなどで話が盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。最後に、次回のゴルフ大会開催日を参加者に伝え大会を無事に終えました。

大会の成績は次の通りです。(敬称略)

- 優勝 運輸営業支部 南保 誠
- 準優勝 運輸営業支部 本郷 良雄
- 三位 運輸営業支部 和泉 秀郎

感謝と決意を胸に

会社発足30周年の 取組み

当社は4月1日に会社発足30周年という節目を迎えました。国鉄改革により、1987(昭和62)年4月に発足して以来、当社は一貫して、東京～名古屋～大阪という日本の大動脈輸送、名古屋・静岡を中心とした東海地域の在来線輸送を担うとともに、これらの地域を中心とした関連事業を展開することで、日本社会・経済の発展に貢献していくことを使命としてきました。

将来にわたりその使命を果たしていくため、既存の鉄道事業・関連事業をより一層ブラッシュアップするだけでなく、超電導リニアによる中央新幹線の建設や高速鉄道の海外展開など、新たな取組みも進めています。

30周年という節目を迎えるにあたり、当社では、これまで支えていただいた多くのお客さまや関係者の皆さまに「感謝」するとともに、これからも当社の使命を全力で果たし続け、日本の未来へ貢献し続ける「決意」を表明する機会と捉え、以下の取組みを行います。



▲30周年ロゴマーク

平成28年度

期末連結決算を発表 (4月27日)

●財務部

平成28年度は、安全・安定輸送の確保を最優先に一層の輸送サービスの充実を図りました。当社の運輸収入は、ビジネス・観光ともにご利用が堅調に推移したことから、好調だった前年度を上回る増収となり、連結営業収益全体でも増収となりました。

また、営業費は、当社の山梨リニア実験線の減価償却費の減少などによりグループ全体で減少し、この結果、増収・増益の決算となりました。

平成29年度は会社発足30年の節目を迎える年であることから、お客さまをはじめこれまで当社を支えていただいた方々に感謝するとともに、これからも日本の大動脈と社会基盤の発展に貢献するという決意を新たに、収益力の強化と技術レベルの不断の向上に取り組むとともに、設備投資を含めた業務執行全般にわたり、知恵を絞り効率化と低コスト化を徹底し、経営体力の充実を図ることが重要です。

30周年記念イベントの開催

会社発足30周年にあわせて、夏休みを中心に、当社が運営する鉄道事業により一層親しんでいただけるよう、お客さまや保護者の皆さまを対象に、職場の公開や業務体験などができる下記の記念イベントを開催します。



▲超電導リニアの山梨リニア実験線

- ▶超電導リニア 体験車庫付き子供学習教室
 - ▶総合研修センター ファミリー見学会
 - ▶新幹線 大井車両基地 ファミリー見学会
 - ▶新幹線 関西地区での乗務員業務体験
 - ▶在来線 名古屋工場、静岡車両区見学会
 - ▶名古屋駅、静岡駅での駅業務体験
 - ▶在来線 名古屋地区での車掌業務体験
 - ▶リニア・鉄道館 新幹線シミュレーター「N700」無料体験・特別ガイドツアー
- なお、記念イベントは事前予約が必要で、応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

30周年ロゴのピンバッジ着用

在来線、東海道新幹線、中央新幹線の「三世代の鉄道」をイメージしている30周年ロゴマークを作成しました。接客社員が30周年ロゴマークのピンバッジを4月1日～8月31日まで着用します。



■平成28年度連結決算のポイント

営業収益	1兆7,569億円(+185億円)
経常利益	5,639億円(+525億円)
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,929億円(+554億円)

()は対前年同期増減

■営業収益、営業費等の構成 (単位:億円)



(注)記帳金額は単位未満四捨五入

中央新幹線 梶ヶ谷非常口及び 資材搬入口新設工事

安全祈願・起工式 (神奈川県)

●中央新幹線推進本部

3月30日に、神奈川県川崎市において、梶ヶ谷非常口及び資材搬入口新設工事の安全祈願・起工式(神奈川県)を開催しました。

当日は、地元関係者をお招きし、施工会社とともに工事の安全を祈願する神事を執り行いました。その後の起工式では、神奈川県黒岩知事や川崎市福田市長をはじめとするご来賓からご祝辞を頂戴した他、当社からの挨拶として柘植社長が、関係者のこれまでのご協力に対して感謝を述べました。また、中央新幹線建設部長岩田部長から、工事の概要や、非常口を並断する際に出る土の運搬に鉄道貨物を活用し、環境への影響を低減すること等について説明しました。

今後も、工事の安全、環境の保全、地域との連携を重視し、計画を着実に進めていきます。



▲安全祈願での「搬入れの儀」の様子(山田会長)

中央新幹線 起工式(神奈川県)



▲起工式での事業部長挨拶の様子(柘植社長)

4月17日の全面開業から 9日間で100万人が来館

JRゲートタワー グランドオープン

●事業推進本部

名古屋駅のJRゲートタワーは、4月7日にゲートタワープラザ レストラン街、ビックカメラ、ユニクロ、ジーユーが開業、4月17日にタカシマヤ ゲートタワーモール、名古屋JRゲートタワーホテルが開業しました。

ゲートタワープラザ レストラン街は、全37店舗中33店舗が東海初出店で、テレビ等でも多く取り上げられたことで、開業以来たくさんのお客さまにご利用いただいています。

タカシマヤ ゲートタワーモールも、東海初出店となるショッピング・カフェや、お子さま向けの施設など様々な店舗が揃っており、開業当日には約1,300名が並ばれたため、急遽予定で30分早めて開業するなど、ターゲットとする働く女性やご家族連れなど幅広いお客さまにお越しいただきました。

名古屋JRゲートタワーホテルは、順調に宿泊のご予約をいただき、出張・旅行などの起点としてご利用いただいています。

名古屋駅へお越しの際は、JRセントラルタワーズとともに、ぜひお立ち寄りください。



▲ゲートタワープラザ レストラン街



▲タカシマヤ ゲートタワーモール

会社発足30周年

当社沿線の警察署、消防署、 鉄道警察隊へ感謝状

●総務部 ●東海鉄道事業本部 ●新幹線鉄道事業本部 ●静岡支社
●関西支社 ●リニア開発本部 ●技術開発部 ●リニア鉄道館

会社発足30周年の節目に、安全・安定輸送をはじめ当社の事業全般にご尽力いただいた沿線11都府県(東京都、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県、愛知県、岐阜県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府)の警察署、消防署・本部、鉄道警察隊に対して、感謝の意を表すため、社長名による感謝状と記念品を贈呈しました。

感謝状では、「鉄道事業の安全・安定輸送の確保をはじめ、弊社の事業全般にわたり円滑に推進することができましたのは、貴署のご指導・ご支援の賜であります。ここに本年四月、国鉄分割民営化により会社発足三十周年を迎えるにあたり、深く感謝の意を表します」と、これまでの謝意を表しています。

贈呈式は、日頃お世話になっている現業機関の長等が、沿線警察署140箇所、沿線消防署184箇所、鉄道警察隊11箇所におきました。これまでのご尽力への感謝を直接お伝えし、今後より一層緊密に連携していくことを相互に確認しました。



▲警視庁鉄道警察隊への贈呈式



▲中村消防署への贈呈式

より安全・安心な駅づくり

在来線3駅 バリアフリー化工事完了

●建設工事業部 ●東海鉄道事業本部 ●静岡支社

御殿場線・裾野駅(2月25日)、紀勢本線・松阪駅(3月4日)、東海道本線・新蒲原駅(3月18日)のバリアフリー化工事が完了し、設備の使用を開始しました。

具体的には、裾野駅ではエレベーター専用のご線橋等を設置、松阪駅では既設のご線橋にエレベーター等を設置、新蒲原駅では改札内通路にエレベーター及び多機能トイレ等を設置しました。

お客さまのご利用が1日3千人以上の駅の約9割で段差解消のためのバリアフリー設備の整備が完了し、お身体の不自由なお客さまや高齢のお客さま、ベビーカーを利用されるお客さまにも、より安全かつ安心してご利用いただける駅が増えました。



▲新蒲原駅に設置したエレベーター



▲裾野駅に設置したエレベーター及びご線橋



▲新蒲原駅に設置した多機能トイレ



▲松阪駅に設置したエレベーター

名古屋JRゲートタワーホテル開業のお知らせ

平成29年4月17日、名古屋駅直結の「JRゲートタワー」内に「名古屋JRゲートタワーホテル」が開業しました。新幹線改札口からフロントまで約5分の好立地にある同ホテルの客室は、各種設備により遮光、防音、防臭に配慮するとともに、緩やかにこだわったベッドやゆったりと入浴できる深いバスhtubなどをご用意し、駅にあってもしっかりとした静寂を感じさせない、静かにおくつろぎいただける快適な空間をご提供します。名古屋ではお泊りの際は、ぜひ「名古屋JRゲートタワーホテル」をご利用ください。



名古屋JRゲートタワーホテル

JRゲートタワー15階(フロントレストランフィットネス)、18階~24階(客室)
宿泊のご予約・お問い合わせは、電話またはWebにて。
TEL : 052-566-2111(24時間)
URL : <http://www.ngh-associa.com>

名古屋マリオットアソシアホテル

オールデイダイニング「パーゴラ」、日本料理「京都 つる家」特別優待

名古屋マリオットアソシアホテルの15階オールデイダイニング「パーゴラ」と、18階日本料理「京都 つる家」において、東海鉄道OB会会員様向けの特別優待をご用意しました。

「パーゴラ」では、7月1日から8月20日まで「地中海ブッフェ」、8月21日から9月30日まで「北海道ブッフェ」を開催します。パフォーマンスキッチンではシェフが目の前で仕上げる出来たてのお料理の数々をお楽しみください。

「京都 つる家」では、名古屋駅の直上に位置しながら、小京都に在るかに感じさせる情緒あふれる空間で、季節の素材を活かした本格的な京料理を堪能いただけます。7月1日からは、祇園祭フェアを開催します(8月31日まで)。本フェアでは、鮎を使ったメニューもご用意していますので、ぜひお越しください。

①オールデイダイニング「パーゴラ」

ランチブッフェ

▶ **平日** 3,000円 **土日祝** 3,500円

ディナーブッフェ

▶ **平日** 4,500円 **土日祝** 5,000円

フリードリンク

▶ 1,800円(ランチは1,500円)

●ご予約・お問い合わせ

TEL.052-584-1101(9:00~22:00)

●営業時間

6:30~23:00(ラストオーダー 22:30)

朝食ブッフェ 6:30~10:00

ランチブッフェ 11:30~15:00

ディナーブッフェ 17:30~21:00



②日本料理「京都 つる家」

<メニュー一例(7月ランチ)>

◆季節の月替わり御膳 朝膳 3,800円

漬物…鯉の蒲川

雑物…竹素揚げ

雑物…帆立アモンド揚げ

造り…本日の造り

8寸…鶏口・出汁巻・酢名巻・漬物・丸十重煮・枝豆

食事…玉葱茶御飯 漬物

甘味…わらびもちと冷やししるこ

●ご予約・お問い合わせ

TEL.052-584-1104(10:00~22:00)

●営業時間

ランチ ▶ 11:30~14:30

ディナー ▶ **平日** 17:30~22:00

(ラストオーダー 20:30)

土日祝 17:00~22:00

(ラストオーダー 20:30)



※金額はすべて消費税・サービス料込です。 ※写真はすべてイメージです。

(JR東海OB会会員様特別優待)

①オールデイダイニング「パーゴラ」

ランチ・ディナーブッフェ+フリードリンク **10%割引**

②日本料理「京都 つる家」

お料理・お飲み物料金の **10%割引**

有効期間 ▶ 平成29年7月1日~9月30日

※ご来店の際「東海鉄道OB会会員証」をご提示ください。

※OB会会員1名様につき、お連れ様(人数分)も優待します。

※特別優待商品、プラン商品等、一部割引適用外の商品がございます。

※他の割引との併用は致し兼ねます。



脳動脈瘤とくも膜下出血の話

名古屋セントラル病院
脳神経外科
科長 中原 紀元



どんな病気？

脳動脈瘤とは、脳動脈壁が風船のように膨らんだものを言います。脳動脈瘤ができる理由は明確ではありませんが、高血圧などによる血管壁へのストレスや喫煙、遺伝などによる動脈壁の脆弱性に関連すると考えられています。

脳動脈瘤は通常は無症状のことがほとんどですが、破裂するとくも膜下出血を発症します。くも膜下出血は脳神経外科疾患の中でも緊急性が高く、危険な病気の一つです。統計的には約3割の患者さんは亡くなり、また約3割の患者さんは何らかの後遺症が残ると言われています。

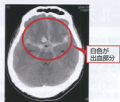
発見率や破裂率は？

最近MRI検査が普及したことにより、未破裂脳動脈瘤で発見され脳神経外科を受診される患者さんも多くみられるようになりました。脳動脈瘤は決して珍しい病気ではなく成人の約5%で発見されると言われています。未破裂脳動脈瘤の破裂率は年間1%程度という日本での研究結果が出ていますが、大きさが5~7mmを超えるもの、特定の部位(前交通動脈あるいは内頸動脈後交通動脈分枝部等)に発生したもの、いびつな形状のものは破裂率が高くなります。

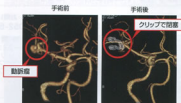
治療の方法

脳動脈瘤の治療は、脳動脈瘤クリッピング術(開頭手術)とコイル塞栓術(カテーテルを使った血管内手術)があります。現時点では手術以外で破裂を予防する治療法は確立されていませんが、くも膜下出血発症を高める要因として高血圧、喫煙、過度の飲酒が考えられています。これらの生活習慣(病)を改善、治療することで発症の危険性を低減できるような心がけましょう。

また、脳動脈瘤は必ずしも破裂するわけではないので必要以上に神経質になることはありません。しかし上述のように破裂率が高いと考えられる方、その中でも年齢の若い患者さんはくも膜下出血を発症する前に治療を行うことが理想的です。治療に伴う危険性もありますので、脳神経外科専門医とよく相談した上で治療を検討されることをおすすめします。

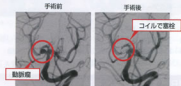


くも膜下出血のCT画像



脳動脈瘤クリッピング術

(開頭手術で脳動脈瘤をクリップで閉塞)



コイル塞栓術

(カテーテルを用いた脳血管治療)

名古屋セントラル病院では脳ドックの受検をおすすめします。

老後の手習い 三河支部 近藤 弘明

三河支部に所属されています画伯杉浦康史様は、65才から老後の手習いとして絵を始められ、旅行・祭事等の思い出を絵にして残され、地域においても個展を開くなど広く活動されています。

今回は、東海鉄道OB会名古屋地方本部が毎年行われています旅行会に参加された際(平成25年～28年)の景色等を画かれた絵画をご紹介します。

平成25年

「日本三景天橋立と伊根湾舟屋の里通りの旅」から「伊根の舟屋」



▲伊根の舟屋



▲熊野灘に向って吠える獅子岩

平成26年

「南紀熊野温泉と吉野山金峯山寺特別拝観の旅」から「熊野灘に向って吠える獅子岩」

平成27年

「世界遺産姫路城と奥座敷塩田温泉の旅」から「白鷺城」



▲白鷺城



▲三笠島

平成28年

「三島スカイウォークと西伊豆堂ヶ島温泉の旅」では、伊豆の松島と呼ばれる堂ヶ島にある、見る角度によって3島、4島に見える「三匹郎島」

以上、旅行の思い出を画いた作品4点を紹介しましたが、平成27年6月に「悠紀斎田100周年記念のお田植え祭」に秋篠宮ご夫妻をお迎えして行われた「お田植え祭の風景画」が地元・岡崎市立六ツ美南部小学校校長室に展示されています。

「会報への寄稿・投稿」要領

表紙 写真	会報「JRJOBとうかい」の表紙に掲載する写真を、広く会員から募集しています。応募写真は、発行の季節にあつたものでJR東海エリアを希望しています。写真は、カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジタルデータでも結構です。お送りいただいたもののうち、ポジフィルム、デジタルデータ記録媒体は、後日返却します。	投稿 ページ	会員及びご家族により楽しんでもらうこと、「投稿ページ」の趣旨に添った記事、楽しいOB生活を送られている(旅行、遊び等)写真を紹介します。写真のタイトル及び200字以内のコメントを添えて投稿して下さい。
支部 だより	OB活動の原点は、支部のそれぞれの活動にかかっています。この欄では、各支部で行われている趣意をはじめ、特色ある活動状況を、広く周知し、魅力ある支部、活力ある支部づくりに役立てていきますので、是非投稿して下さい。テーマ、内容等は自由ですが、700字以内を自由にし、写真を添えて下さい。	文芸	会員から、「短歌、俳句及び川柳」を随時随時受け付けています。応募は、会報発行毎に、一名種別ごとに同製葉書一枚に、短歌は二首、俳句は二句、川柳は二句以内に限り、会報発行時の季節にあつたものとします。応募の趣、足跡に「短歌」「俳句」「川柳」とを添えて下さい。
読者の ひろば	会員からの「随筆、情報、体験談等」を随時受け付けています。テーマ、内容等は自由です。原稿は800字以内で、必ず筆者の顔写真を一枚、また記事にちなんで写真があれば添付して下さい。	掲載 要領	寄稿又は投稿された作品は、順次掲載しますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節等を考慮するため、掲載が遅れる場合がありますのでご承知下さい。なお、原稿等は修正させていただきますが、寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。各寄稿・投稿に際しては、必ず応募年月日、所属支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

【寄稿及び投稿先】〒453-0801 名古屋市中村区太閤一丁目3番16号 東海キヨスク牧野ビル内 東海鉄道OB会・会報編集係宛

インストラクター

人形と生きる

名古屋運輸車両支部 宮田 博

国鉄に入社して30歳の頃、藤本義一さんの「人は10年20年先を見て生きることには決して無駄ではない。」とのエッセーに接し、将来人形を作ることに専念しようと思い、2年間毎週東京の木目込人形学院の米州、久月、真多呂の学院に学び、各学院の講師の資格を得ました。

木目込人形は、天文年間(1736~1740年)に京都上賀茂神社の神官・堀川家に仕えた高橋忠重氏によって奉納箱を作る柳の木の残片で作られた(神官の衣裳の端切れを木目込んだもの)のが始まりと言われています。別名「賀茂人形」又は「賀茂川人形」とも呼ばれています。

木目込人形とは、桐殻(桐の粉を糊と混ぜ合せたもの)を固めたボディに溝を掘り、そこに金襴や友禅などの好きな布をへらで入れ込んで(木目込む)着せ付けていく人形のことですが、布には沢山の色柄があり、自分の感性によって着せ、オリジナルの人形を作るのが楽しみです。

その工程は、原型作りから始めて「かま詰め」「ぬき」「木地こしらえ」「胡粉塗り」「筋彫り」「木目込み」「面相書き」などを重ね、職人の丹精込めた技から生まれる雅やかな



▲木目込み人形作りを楽しまれる筆者

逸品は、伝統工芸品として高い評価を得ています。

46歳の時にJRIに変わる一ヶ月前に退職し、新幹線高架下にギャラリー「萬屋巳之吉」を開設しました。人形が好きなので主に木目込人形の作家の作品を中心に数百点蒐集しました。人形の一つひとつが可愛くて、私の人生の友として毎日を楽しんでいます。

名古屋朝日文化センターの講師を25年勤め、現在は非常勤講師として現在に至っています。また、自宅で近所の方と干支や雛人形等を毎週楽しんでいます。木目込人形について何か知りたいこと(ホームページ「萬屋巳之吉」)がありましたら、お手伝いやご要望にお応えできると想います。

我が支部の誇り



よわい 祝「80歳(米寿)」の 高山市

高山支部 横田 茂

近年高山市は、80歳のめでたい記念事業が続いています。一昨年(10月)には、「高山本線全通(岐阜・高山間)80周年記念」祝賀行事が、また、昨年10月には、「高山市市制施行80周年記念」と新高山駅舎完成祝賀行事が盛大に行われました。

12月の初めには、高山市の屋台23台(山王祭12基、八幡祭11基)と飛騨古川の屋台に対して「山、絆、屋台行事」のユネスコ無形文化遺産に登録され、それを祝して氏子の皆さんが祭り装束で市内を練り歩きました。

この屋台は、動く開閉門と称され高山祭「春の山王祭(4月14日・15日)秋の八幡祭(10月9日・10日)」の日には広場に曳き揃えられ、「からくり」屋台に取り付けられた「からくり人形」の実演があり、夜には屋台に提灯が灯され町を曳き回した後、各屋台蔵へ帰る夜祭りがあります。

屋台は、祭りの期間以外は松山八幡宮境内の屋台会館で見学することができます。

このほかに高山市では、「古い町並み」を世界遺産に登録申請中であり、これにも弾みがつくものと思われま

す。特に、我々の関心のある新駅舎は、二階建の橋上駅でエレベーター、エスカレーター、階段が設置され、駅長室、事務室、



▲古い町並と春・秋祭りで見物

乗車券売場、改札口など、内外装には飛騨の木材をふんだんに使ってあり温もりを感じさせます。乗降口(東)から白山口(西)に通じる佐通りは、24時間自由通路となっており、通路側面には高山祭りの燈びやかな屋台の模型や、屋台の歴史が展示されています。また、白山口近くの公園には、「SL96型機関車」「ラッセル車」の2台が静態保存されており、元鉄道職員の方々が「96会」を作り、清掃奉仕して綺麗に保存されています。

是非、四季折々の季節を味わうことのできる飛騨へお出掛けください。

文芸

【短歌】

残されし 燕の行く木 見るまでは
迎えは早いと 逆い返す日々

茶碗飯 九十杯で 良とせず
残りに飯は 嗜めて食べ

名古屋運輸車両支部 服部幸夫

行く舞々 いく千体の 離差ぶ

嗚然と返る 可睡者ひな祭り

朱印の趣味 神社名利 訪わしめる

旅に誘いて 世間広まる

桑名支部 丹羽孝之

三両の 在来線に のりかえて

急がぬ降途に つづく菜の花

プロ野球の キャンプ地まる ニュース見つ

た弾ます 男の一人

沼津支部 山田寿男

一面に 黄褐色した 秋之原

新茶のかおりを 胸いっぱい吸う

茶思集ふ 皆は忘れん 口々に

知音の支も 日々に疎し

高田支部 石田正和

【俳句】

浜名湖の 煮煎やさしく 風光る
無人駅 こぼれそうなる 燕の子

浜松東支部 大倉照二

紫の 紫陽花咲きて 庭涼し
わが家の 緑の芝生 蛙跳ぶ

津川支部 細江 勉

中空や 日に光り合ふ 紋白蝶
初蝶や 亡き子の声を 聴くことし

清水支部 吉川武子

早々と 庭の山茶花 ちり初むる
紅葉を 分け入り走る デイゼルカー

津支部 奥村大喜男

水遣りが 過ぎて白立の 根を枯らす
板尻は 根の茎を 踏めてから

岐阜工務局支部 弓折英二

失敗を 重ね重ねた 努力賞
針供養 痛みに耐えて いる豆腐

名古屋運輸車両支部 山田 愛

初日の出 孫み平和な 日々祈る
鏡見て 年を食ったな オイお前

三河支部 加藤哲郎

娘の言葉 そのものずばり 嫌みなし
思い出し 笑い忘れぬ デイゼルリス

四日市支部 小川 勇

【川柳】

編集後記

東海鉄道OB会の各地区総会がほぼ終わり、本部総会では、5年間の長きに亘り会長を務められた天谷会長が退任され、新しく吉川会長が就任されました。また、地方本部長では、平成17年の日本鉄道OB会組織の再編時から、ご活躍をいただきました平井名古屋地方本部長が退任され、後任に山守本部長が就任されました。各地区の支部長が交代されたところもあり、それぞれ新たなスタートが切られました。

本部総会へ、柘植社長が来賓としてご出席いただき、JR東海の現状と中央新幹線のリアン開発に向けて、力強い取組みをお話されました。私たちOBも、JR東海への感恩しとして微力ですが、増収活動、無人駅の清掃活動、さわやかウォーキングへの協力などを推進してまいります。

1. 本部・地本・支部だよ

29年者の生存者総額は、東海鉄道OB会で3名の会員が受章されました。長年、鉄道業務に携わりご苦労されてきた賜物と思います。心からお喜びを申し上げます。

地本・支部だよは、清掃活動、バス旅行、ゴルフ大会の開催などで、会員相互の親睦が図られております。浜松東支部から、大河ドラマの「女城主直虎」の舞台となっている遠州地区の旧跡を訪ねて、観光を深められている様子を投稿いただきました。

2. 読者のひろば

今回は、お休みさせていただきました。皆さんからのご投稿をお待ちしております。

3. インストラクター

名古屋運輸車両支部の宮田 博さんは、国鉄時代から人形作りの趣味を持っておられ、「萬屋巳之吉」ギャラリーを開設されるとともに、文化センターの講師を長年勤められており、木目込(きめこみ)人形の第一人者として活躍されています。

4. 我が支部の同好

今回は、高山支部からいただきました。昨年10月、新高山駅舎が完成し、観光地高山の新しい玄関口となりました。最近、特に外国人観光客が増加し、特急ひだ号を利用する外国人観光客が2〜3割増加しているそうです。是非機会を創っていただき、高山を訪ねてみてください。(南川)

癒しの信州

信州デスティネーションキャンペーン

2017.7.1 - 9.30

観光列車で行こう、夏の信州へ。

【黒田町 下夏の里】

信州デスティネーションキャンペーン期間中、
いろいろな観光列車が登場します。

快速 いろいろ水巻路号
【高野 → 中津川】7/29 - 30

全車
自由席

特急 諏訪しなの号
【飯田 → 長野】7/25 & 8/22 - 24

全車
自由席

快速 信州DC伊那路満喫号
【本別次 → 中津川】7/23

全車
自由席

快速 飯田線リレ号
【飯田 → 新栄】7/21, 26, 28, 30
【新栄 → 飯田】7/23, 28, 30, 31

全車
自由席

急行 飯田線新地駅号
【新地 → 飯田】7/11 - 2, 8/19 - 20, 8/18 - 19

全車
自由席

快速 飯田線80周年アルプス号
【伊那市 → 飯田】8/19 - 20

全車
自由席

特急 水巻みずき号
【新栄 → 本別次】7/21, 26, 28, 30
【本別次 → 新栄】7/23, 28, 30, 31

全車
自由席

世界級リゾートへ、ようこそ。山の信州 **Shupo** シュポ **特急**
信州デスティネーションキャンペーン 2017.7.1 - 9.30 <http://shupo.jr-central.co.jp>

上記の特急列車もご利用の際は、乗車券の他に指定席特急券が必要です。上記の急行列車もご利用の際は、乗車券の他に指定席券が必要です。快速「信州DC伊那路満喫号」は上記の快速列車もご利用の際は、乗車券の他に指定席券が必要です。指定席券は上記乗車券に上記の11月までの10時から全国のJTBの駅で発売します。各駅 - イラストはすべてイメージです。

鉄道少年団とSL清掃奉仕 焼津支部 伊藤 廣

9月18日、当支部で今年度計画した奉仕活動の一つとして、JR焼津駅の近くにある小石川公園に展示保存されているSL(C50-96)の清掃活動を当支部会員と静岡県内在住の小学校4年生から高校3年生までの鉄道が大好きな子供達が所属する静岡県鉄道少年団の団員とともに約30名で行いました。

焼津市は、マグロやカツオの遠洋漁業で栄える焼津漁港が有名で、SLの時代より焼津駅から貨車でマグロやカツオ、豊節などを全国各地へ大量に発送していたことから、漁業関係者を中心に鉄道に対する思い入れが強く、SLが廃止される際に、焼津の漁業を支えてくれたSLや動輪を国鉄から譲り受け、SLは現在の小石川公園に、動輪は焼津駅前広場に設置して大切に保存されています。

この小石川公園に展示されているSLは、管理者である焼津市が、定期的に地元シルバー人材センターに清掃を委託しているため、普段から比較的綺麗な状態で展示されています。

しかし、煙室や蒸気釜などの高い場所は清掃が行き届いていないことから、高い場所は鉄道少年団の中学生や高校生の大きい子供にお願いし、当支部の会員はこの高い所で作業する子供達の安全を見守りながら、小学生の小さい団員と一緒に普段の清掃では、なかなか手の届かない細かな所を雑巾で埃を丹念に拭き取りました。

約1時間の作業後は、会員の奮闘により以前にも増してピカピカな綺麗な姿に仕上げる事ができ、参加した当支部の会員も、また、共に活動した鉄道少年団の子供達も清掃活動に対する充実感や達成感が感じられたようで、明るい笑顔で清掃活動を終了することができました。

なお、来年度も焼津駅前に保存されている動輪の汚れが目立ってきていることから、この動輪の清掃も検討したいと考えています。



「会報への寄稿・投稿」要領

表紙 写真	会報「JROBとつがい」の表紙に掲載する写真を、広く会員から募集しています。応募写真は、発行の季節にあつたものでJR東海エリアを希望しています。写真は、カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジタルカメラでも結構です。お送りいただいたもののうち、ポジフィルム、デジタルカメラ記録媒体は、後日返却します。	投稿 ページ	会員及びご家族により親しんでらおうと、「投稿ページの欄」を設けました。家族成しは友達と一緒に、楽しいJCB生活を送られている(旅行、遊び等)写真を紹介したい。写真のタイトル及び200字以内のコメントを添えて投稿して下さい。
支部 だより	OB活動の原点は、支部のそれぞれの活動にかかっています。この欄では、各支部で行われている組合をはじめ、特色ある活動状況を、広く興味・魅力ある支部、活力ある支部づくりが役立てていきますので、是非投稿して下さい。テーマ、内容等は自由ですが、700字以内を目途にし、写真を添えて下さい。	文芸	会員から、「短歌、俳句及び川柳」を随時受け付けています。応募は、会報発行毎に、一冊種別ごとに百製葉書一枚に、短歌は二首、俳句は二句、川柳は二句以内限り、会報発行時の季節にあつたものとします。応募の際、空欄に「短歌」「俳句」「川柳」とお書き下さい。
読者の ひろば	会員からの「随筆、俳句、体験談等」を随時受け付けています。テーマ、内容等は自由です。原稿はB00字以内で、必ず筆者の氏名と住所、また記事にちなんだ写真をあれば添付して下さい。	掲載 要領	寄稿又は投稿された作品は、順次掲載しますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節等を考慮するため、掲載が遅れる場合がありますのでご了承下さい。なお、誤字等は修正させていただきますが、寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。各寄稿・投稿に際しては、必ず応募年月日、所属支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

【寄稿及び投稿先】〒453-0801 名古屋市中村区大曽一丁目3番16号 東海キヨスク牧野ビル内 東海鉄道OB会・会報編集係

インストラクター

ピアノ演奏で施設訪問

焼津支部 大橋 正博

趣味のピアノを活用して地域の老人ホームなどの福祉施設を月に2回ほど慰問するボランティア活動を行っています。

使用する楽器は、鍵盤部分を車で持ち運びできるように電子ピアノを使用しています。電子ピアノは、色々な楽器の音色(グランドピアノ、パイプオルガン、ギター、バイオリンなどの弦楽器、鉄琴)を演奏ができることから、非常に活用範囲が広く皆さん楽しんでいただくことができます。

訪問先では、約50分程度ですが、次のような演奏を行い、皆さん笑顔を見ていると何とも言えない気持ちになります。

1. 「早春賦」などの抒情歌をいろんな楽器音で演奏し、音の違いや曲目、曲想に合う好きな音色を楽しんでいただく。
2. グランドピアノの音の演奏で「ショパンの別れの曲」や「モーツァルトのピアノ協奏曲第2番」などのクラシックの演奏を聴いていただく。
3. 皆さんに参加していただいで一緒に楽しむ内容として「みかんの花咲く丘、故郷」などを歌いながら車椅子等に座ったままできる簡単な手足の体操をしていただく。



▲門前まで熱演する大橋氏

4. 最後に水戸黄門の衣装に着替えて水戸黄門のテーマソングを演奏して皆さんと一緒に歌う。

訪問先の地域包括支援センターや福祉施設の方々と、福祉に係るお話をさせていただくことが多々あります。これも前職の静岡福祉所勤務時に「厚生労働省の社会福祉主事認定」の資格を取得し、福祉に係る仕事に携わってきたことが大役立っています。

これからは、地域の福祉施設だけでなくOB会活動の中でも一緒に楽しみたいと思っています。

我が支部の誇り



戦乱の世 遠州掛川に3つの城

掛川支部 戸田 哲夫

戦乱の世に興亡を極めた遠州掛川の3つの城「掛川城」「高天神城跡」「横須賀城跡」を紹介します。

最初に掛川城です。掛川城は駿河の今川氏が遠州支配の拠点として、また、勢力拡大に伴い手狭になった掛川古城を永正9年から10年頃に現在の地に築城されました。

永禄3年橋狭間の戦いで今川義元が織田信長に討たれると、永禄11年(1568)義元の子氏真は、甲斐の武田氏に駿河を巡り掛川城に立て籠りました。翌年、徳川家康は掛川城を攻め長期に亘る攻防の末、和睦により開城。天正18年(1590)全国平定をした豊臣秀吉は、徳川家康を関東へ移すと、家康の旧領地に秀吉配下の大名を配置し、掛川城には山内一豊が入り、城の拡張、城下の整備を行うとともに掛川城に初めて天守閣を築きました。

現在の城は、平成8年4月140年振りに「東海の名城」と謳われた美しさそのままに、日本初の本格木造天守閣として復元されたものです。使用された青森ヒノキは、今も木の香りを城内に残しています。

次に高天神城跡です。小笠山の南東に伸びる尾根の先端にある山城です。東部の田園地帯から遠州灘まで見渡すことができ、小笠山の北を通る東海道を牽制できる重要



▲東海の名城「掛川城」の勇姿

な城のため武田と徳川が争奪戦を繰り返しました。眼下には中小河川が流れ自然の堀をなし、尾根は三方が断崖絶壁。一方は尾根続きの天然の要害で「難攻不落の名城」と呼ばれました。

最後に横須賀城跡です。この城は、山城と平城を合わせた平山城と呼ばれ、二重の城郭要素を持っているといわれています。築城のきっかけは徳川勢が守る高天神城への武田氏の襲来でした。天正2年(1574)高天神城を失った家康は天正6年(1578)大須賀康高(初代城主)に命じて築いた城郭です。

掛川駅に着いたら案内所「たびスタ」にお寄りください。

文芸

【短歌】

清らかな 秋木春の 今日の日

頬に一吹 晩秋の風

晩秋の 小春日まごう 盛さがり

モズの高音に 夢破られし

初春の 輝き満つる 今日の日を

九十二歳の 集命に生く

おだやかな 年の瀬すきて 思うこと

働きこれし 幸福笑顔

豊田支部 鈴木さよ子

上げばかり 見て暮らしては いけないと

亡きわが父に 教えられたり

朝六時 雨戸開いて 陽を拜む

今日は良い事 ありますように

沼津支部 山田舟男

〇日会の グラウンドゴルフに 優勝し

春舟の今の 老を楽しむ

久々に 会う〇日会の 面々に

元氣をもらおう 真夏の一日

津支部 岡 俊雄

【俳句】

曇づくりの 物縁にさしこむ 夕日かな

生きがいや 句作に励む 十二月

喜びの はみ出して来る 年賀状

朝刊の 折り目も正し 初明り

あの夜の いっしょに聞きし 秋の声

鉛筆を ゆっくり削り 秋灯下

完全の 桃に日の味 濃かりけり

秋水や 京支祥の 揺れる川

東京地本 藤田 敏

歳暮うけ 孫の風道い 身にしみる

世直しに 嘘も並べた 教え唄

孫次喜多の 人生喜寿の 叔を越え

来年の 背大で買った 孫の服

大府支部 家田 采

つるし柿 合間に覗く 雪の富士

妻逝きて 孤独を支に 手酌酒

食しくも 笑い袋を 持つふとり

生きている 価値を問うてる 写経筆

大府支部 藤井芳雄

【川柳】

編集後記

会員の皆様あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお話し申し上げます。昨年は、災害の多い1年でありました。特に、熊本、鳥取、東北で大きな地震が発生し、多くの鉄道OB会員が被災されました。本年は、災害のない1年でありますように祈念しております。

1. 本部から

日本鉄道OB会連合会の全国大会が、10月20日に東京で開催され、永年OB会活動に貢献された会員に特別功労章、地域や社会に貢献されたインストラクターの会員に表彰状と記念品が贈呈されました。秋の生存者叙勲は、11月10日に東京で伝達式が行われ、東海鉄道OB会からは、5名の会員が栄誉に浴されました。

2. 地本・支部だより

名古屋地方本部から蟹江、笠寺、津島、西濃各支部の活動状況を、静岡地方本部から富士、身延各支部の活動状況を、東海東京地方本部から「山口蓬春記念館と横須賀軍港めぐりツアー」を、東海大阪地方本部から「ぶどう狩り&すき焼きパーティー」の投稿をいただきました。バラエティーに富んだ

企画で、多くの会員が楽しんでおられます。今後もユニークな企画を発案され、継続的な活動を期待しています。

3. 読者のひろば

名古屋運輸車両支部の鈴木さんから、日本百名山の北岳・間ノ岳山と半田支部の杉本さんから、私と落語を、それぞれ投稿され、ご自身の趣味を披露していただきました。お二人とも、今後ますますお元気で活躍されることを祈念しております。

4. 我が支部の釣り

今日は、掛川支部から「遠州掛川にある3つの城」をご紹介します。戦乱の世に多くの武将が築城したもので、特に掛川城は、本格木造天守閣として復元され東海の名城と謳われていますので、会員の皆様もぜひ訪れていただきたいと思ひます。(南川)

JR

実感 体感 新幹線

今日のドキドキは、
未来につながる。

新幹線シミュレータ
[N700]

東北地方の山間部を走行
体験料 300円(税込)

シンクンセン

リニア・鉄道館

JR名古屋駅よりあおなみ線「金城ふ頭駅」下車 徒歩約2分
(名古屋駅～金城ふ頭駅間内道24分)
開館時間：10:00～17:30(最終入館は閉館30分前まで)
休 日：毎週大曜日(祝日の場合は翌日)、12月28日～1月1日
入 館 料：1,000円(小中高生500円、幼児3歳以上1,200円/名)

新大阪 名古屋 東京
リニア中央新幹線
東海旅客鉄道株式会社

<http://museum.jr-central.co.jp/>
リニア鉄道館 開館

※開館日とは異なります。

JR OB とうかい

Vol.48 2017年1月

発行/〒453-0801 愛知県名古屋市中村区大曽1-3-16 東海キヨスク牧野ビル内 東海鉄道OB会本部 発行人/南川 謙 TEL.052-453-7292(FAX兼用)